

平成24年9月11日

各位

軽自動車検査協会
業務部 電算管理室長

二次元バーコードの格納内容の変更のお知らせ

貴会におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。
また、当協会の業務運営に日頃より、ご理解とご協力賜り厚く御礼申し上げます。
この程、軽自動車の自動車検査証等に印刷された二次元バーコードの格納内容を以下の
とおり変更するのでお知らせします。

1. 開始時期

平成24年10月1日（月）

2. 対象帳票

- (1) 自動車検査証
- (2) 限定自動車検査証
- (3) 自動車予備検査証
- (4) 自動車検査証返納証明書

3. 格納情報及び形式等

別紙「二次元バーコードの仕様」のとおり

4. 二次元バーコードへの暗号化

暗号化は行わない

5. 変更箇所（別紙中の網掛け部分）

(1)コード2中、項番2「バージョン番号」

現在の設定値：“21” ⇒ 平成24年10月以降の設定値：“22”

(2)コード2中、項番4「標板の枚数・大きさ」

現在の設定値：“1”～”8”

⇒ 平成24年10月以降の設定値：“1”～”8” 又は”A”～”H”

二次元バーコードの仕様

1. 二次元バーコードの形式等

二次元バーコードの形式はQRコード（JIS-X-0510）とする。

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード1	1 (分割なし)	Q (25%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

2. 格納情報

二次元コード中、コード2・3については各項目の区切り文字として、半角スラッシュ（ / ）を格納する。

【コード1】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事
1	システム ID	固定	半角1	“K”を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角2	“02”を設定する。
3	輸出整理番号	固定	半角16	輸出予定届出証明書の場合、輸出整理番号を設定する。 その他の帳票の場合、空欄を設定する。
4	車両番号	固定	全角12	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字（4桁）＋分類番号（3桁）＋かな文字（1桁）＋一連番号（4桁）の順に設定する。 (例)品川△△40△あ△△△1 ※小板の場合、分類番号＋標板文字＋かな文字＋一連番号の順に設定する。 (例)40△品川△△あ△△△1 ※予備検査証番号の場合、標板文字＋“△△△”＋かな文字＋一連番号の順に設定する。 (例)品川△△△△△F△△12
5	車台番号	固定	半角20	車台番号を設定する（左詰）。 (例)ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭2桁を[]で囲んだ値を設定する。
6	型式指定番号 類別区分番号	固定	半角9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例)123451234 ※一般車の場合は、空欄を設定する。

△：全角スペース ▲：半角スペース

【コード2】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事																											
1	システム ID	固定	半角1	“K”を設定する。																											
2	バージョン 番号	固定	半角2	“22”を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)																											
3	車両番号	固定	全角12	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字(4桁)+分類番号(3桁)+かな文字(1桁)+一連番号(4桁)の順に設定する。 (例)品川△△40△あ△△△1 ※小板の場合、分類番号+標板文字+かな文字+一連番号の順に設定する。 (例)40△品川△△あ△△△1 ※予備検査証番号の場合、標板文字+“△△△”+かな文字+一連番号の順に設定する。 (例)品川△△△△△F△△12																											
4	標板の枚数・ 大きさ	固定	半角1	標板の大きさ、枚数、および、字光/ペイント、一般払出番号/希望番号の組み合わせで設定する。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">設定値</th> <th style="text-align: center;">:</th> <th style="text-align: center;">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 (希望番号の場合はA)</td> <td>:</td> <td>中板・2枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>2 (希望番号の場合はB)</td> <td>:</td> <td>小板・2枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>3 (希望番号の場合はC)</td> <td>:</td> <td>中板・1枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>4 (希望番号の場合はD)</td> <td>:</td> <td>小板・1枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>5 (希望番号の場合はE)</td> <td>:</td> <td>中板・2枚・字光</td> </tr> <tr> <td>6 (希望番号の場合はF)</td> <td>:</td> <td>小板・2枚・字光</td> </tr> <tr> <td>7 (希望番号の場合はG)</td> <td>:</td> <td>中板・1枚・字光</td> </tr> <tr> <td>8 (希望番号の場合はH)</td> <td>:</td> <td>小板・1枚・字光</td> </tr> </tbody> </table> 予備検査証番号および転入返納番号の場合、“-”を設定する。	設定値	:	分類	1 (希望番号の場合はA)	:	中板・2枚・ペイント	2 (希望番号の場合はB)	:	小板・2枚・ペイント	3 (希望番号の場合はC)	:	中板・1枚・ペイント	4 (希望番号の場合はD)	:	小板・1枚・ペイント	5 (希望番号の場合はE)	:	中板・2枚・字光	6 (希望番号の場合はF)	:	小板・2枚・字光	7 (希望番号の場合はG)	:	中板・1枚・字光	8 (希望番号の場合はH)	:	小板・1枚・字光
設定値	:	分類																													
1 (希望番号の場合はA)	:	中板・2枚・ペイント																													
2 (希望番号の場合はB)	:	小板・2枚・ペイント																													
3 (希望番号の場合はC)	:	中板・1枚・ペイント																													
4 (希望番号の場合はD)	:	小板・1枚・ペイント																													
5 (希望番号の場合はE)	:	中板・2枚・字光																													
6 (希望番号の場合はF)	:	小板・2枚・字光																													
7 (希望番号の場合はG)	:	中板・1枚・字光																													
8 (希望番号の場合はH)	:	小板・1枚・字光																													
5	車台番号	可変	半角20	車台番号を設定する。 (例)ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭2桁を [] で囲んだ値を設定する。																											
6	原動機型式	可変	半角12	原動機型式を設定する。 (例)TN360E ※職権打刻の場合、先頭2桁を [] で囲んだ値を設定する。 ※不明の場合、“*FUMEI”とする。 ※存在しない場合は、“-”とする。																											

7	帳票種別	固定	半角 1	<p>出力帳票の種別を設定する。</p> <p>設定値 : 帳票名</p> <p>1 : 自動車検査証</p> <p>2 : 自動車予備検査証</p> <p>3 : 限定自動車検査証 (その1)</p> <p>4 : 自動車検査証返納証明書</p>
---	------	----	------	--

△ : 全角スペース ▲ : 半角スペース

【コード3】

項番	内容	固定／可変	桁数 (バイト数)	記事
1	システム ID	固定	半角1	“K”を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角2	“31”を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)
3	車台番号 打刻位置	固定	半角3	車台番号打刻位置をコードで設定する。 (例) 123 ※原簿ファイルに車台番打刻位置が設定されていない場合、“-▲▲”を設定する。
4	型式指定番号 類別区分番号	可変	半角9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例) 123451234 ※一般車の場合は、設定しない。
5	有効期間 満了日	固定	半角6	西暦下2桁+月2桁+日2桁で設定する。 (例) 090401 ※未設定の場合は、“999999”を設定する。
6	初度検査年月	固定	半角4	西暦下2桁+月2桁で設定する。 (例) 0904 ※未設定の場合は、“9999”を設定する。 ※月のみ未設定の場合は、西暦下2桁+“99”を設定する。
7	型式	可変	半角20	型式を設定する。 (例) TN360E ※試作車の場合、“*SHISAKU”とする。 ※試作車の場合(通常の型式の末尾につく場合)、型式+“*S”とする。 ※組立車の場合、“*KUMITATE”とする。 ※不明の場合、“*FUMEI”とする。 ※改造車の場合、型式+“*K”とする。
8	軸重(前前)	固定	半角4	軸重(前前)を設定する(10kg単位)。 (例) 0123 (1230kg) ※型式車の場合、諸元ファイルの前前軸重を設定する。 ※一般車の場合、原簿ファイルの前軸重を設定する(1の位は切捨て)。 ※設定されていない場合は、“-▲▲▲”とする。
9	軸重(前後)	固定	半角1	“-”を設定する。
10	軸重(後前)	固定	半角1	“-”を設定する。

11	軸重（後後）	固定	半角 4	軸重（後後）を設定する（10kg単位）。 （例）0123 （1230kg） ※型式車の場合、諸元ファイルの後後軸重を設定する。 ※一般車の場合、原簿ファイルの後軸重を設定する（1の位は切捨て）。 ※設定されていない場合は、“-▲▲▲”とする。
12	騒音規制	固定	半角 2	“-▲”を設定する。
13	近接排気 騒音規制値	固定	半角 3	“-▲▲”を設定する。
14	駆動方式	固定	半角 1	“-”を設定する。
15	オパシメータ 測定車	固定	半角 1	“-”を設定する。
16	NOx・PM 測定モード	固定	半角 1	“-”を設定する。
17	NOx値	固定	半角 4	“-▲▲▲”を設定する。
18	PM値	固定	半角 5	“-▲▲▲▲”を設定する。
19	予備項目	固定	半角 6	“999999”を設定する。

△：全角スペース ▲：半角スペース

